

名古屋市市政資料館

入場無料

定員100名

スプリングコンサート

～ステンドグラスに響く弦楽四重奏の調べ～

演奏曲

モーツァルト:セレナーデ
「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」
ト長調 K.525 第1楽章 ほか

※曲目は変更となる場合がございます

2018年

3月17日(土)

午後 1:30～午後 2:00

午後 3:30～午後 4:00

場所：名古屋市市政資料館 中央階段室

出演：セントラル愛知交響楽団弦楽四重奏

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日

(休日の場合はその直後の平日)

毎月第3木曜日

地下鉄名城線「市役所」下車、東へ徒歩8分

名鉄瀬戸線「東大手」下車、南へ徒歩5分

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

名古屋市東区白壁一丁目3番地

TEL 052-953-0051 FAX052-953-4398



市政資料館スプリングコンサート 出演者プロフィール



ヴァイオリン
古宮山 栄里
(こみやま えり)

岐阜県大垣市出身。名古屋音楽大学卒業後、セントラル愛知交響楽団に入団。オーケストラプレイヤーとして活動する他、室内楽、ソロのコンサートにも多く出演している。アンサンブルアミューズメンバー。



ヴァイオリン
植村 圭
(うえむら けい)

京都市立堀川高等学校音楽科(現、京都市立音楽学校)を経て愛知県立芸術大学音楽学部器楽科卒業。現在東海地方関西地方を中心に活動中。セントラル愛知交響楽団契約団員。



ヴィオラ
為貝 香織
(ためがいかおり)

武蔵野音楽大学音楽学部卒業。その後桐朋オーケストラ・アカデミーにて研鑽を積む。これまでにヴァイオリンをG・パデフ、前澤敦、萩原耕介、ヴィオラを白尾借子の各氏に師事。



チェロ
山田 真吾
(やまだ しんご)

岐阜大学工学部卒業後、ハンガリー国立リスト音楽院修了。ブルクハルト国際音楽コンクール弦楽器部門第2位。名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、香港ベルカントオーケストラ等と協奏曲を共演。

セントラル愛知交響楽団

所属団体
紹介

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。1997年岩倉市の好意による練習場の無償借用や事業補助を機会に、セントラル愛知交響楽団と名称を変更。2009年4月より一般社団法人として再出発する。2013年に創立30周年を迎え、2014年4月から音楽監督にチェコの名匠レオシュ・スワロフスキーが就任、楽団として新たなスタートを切る。海外では2007年7月、8月中国内蒙古自治区、2009年9月タイ・バンコク(文化庁国際交流支援事業)、2017年9月韓国・釜山(釜山マル国際音楽祭)で公演を行い、成功を収めた。年間約100回の公演はどれも好評をもって迎えられている。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」受賞。2015年7月に半田市と音楽文化振興の協定を締結。

